

## ■ 「レコフ M&A データベース」 操作のワンポイントアドバイス

### 【第 68 回】『総合商社の M&A IN-OUT の伸長』

現在、様々な業種で外国企業に対する M&A が行われており、その件数も増えています。もともと海外との関係が深い総合商社の M&A も例外ではありません。ここでは 2005 年からの商社の M&A において IN-OUT がどのように増えていったのかを見てみます。比較のため、商社の IN-IN 案件数も集計します。

### 【検索条件指定】画面

1. ■データ種別を「M&A」、■検索期間(ここでは 2005/01/01~2015/12/31)、■マーケットで「IN-IN」、  
「IN-OUT」、■業種の「指定」ボタンをクリックし、当事者 1「総合商社」を選択。画面右上の「データ  
集計」ボタンをクリック。

①ここを選択

②黄色部分を変更入力、またはカレンダーで選択

③ここを選択

④ここをクリック

⑤クリック後に現れる画面で当事者 1 のボックスに☑「総合商社」を選択

⑥ここをクリック

このスクリーンショットは、検索条件指定の画面を示しています。①は「データ種別」の「M&A」を選択する箇所、②は検索期間「2005/01/01」から「2015/12/31」を設定する箇所、③は「マーケット」の「IN-IN」と「IN-OUT」を選択する箇所、④は「指定」ボタンをクリックする箇所、⑤は「当事者 1」のリストから「総合商社」を選択する箇所、⑥は「データ集計」ボタンをクリックする箇所を示しています。

### 【集計条件指定】画面

2. ■「集計内容」で「マーケット別」、■「集計単位」で「件数」、■期間区分で「年別」を選択し、「集  
計表示」ボタンをクリック

黄色部分を選択して集計条件を設定

金額を出す場合にはこちらを選択

このスクリーンショットは、集計条件指定の画面を示しています。黄色の部分は「集計内容」の「マーケット別」を選択する箇所、集計単位の「件数」を選択する箇所、期間区分の「年別」を選択する箇所を示しています。また、「金額」を選択するオプションについても説明がなされています。

3. エクセルで加工(次ページへ)

(百万円) 日本の総合商社が当事者1となるマーケット別M&A(件数と金額)

